

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公開番号】特開2006-347546(P2006-347546A)

【公開日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2006-051

【出願番号】特願2006-270547(P2006-270547)

【国際特許分類】

B 6 2 M 23/02 (2006.01)

【F I】

B 6 2 M 23/02 N

B 6 2 M 23/02 P

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月22日(2006.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

人力駆動力を検出する磁歪式センサと、

走行を行うための車輌走行部と、

前記人力駆動力をこの車輌走行部に伝達するドライブスプロケットと、

補助動力を出力する補助動力装置と、

この補助動力装置の出力を減速する減速機構と、

検出した前記人力駆動力の値に基いて前記補助動力装置の制御を行う制御部と、

前記補助動力を前記車輌走行部に伝達する補助スプロケットと、

この補助スプロケットと前記ドライブスプロケットとそれぞれ独立に係合しそれらの駆動力を前記車輌走行部に伝達するチェーンと、

前記磁歪式センサと前記補助動力装置とをそれぞれ覆う非磁性体材料からなるケーシングとを備え、

前記補助動力を前記車輌走行部に伝達する機構内では、減速もしくは等速で伝達していることを特徴とする補助動力装置付き車輌。

【請求項2】

減速機構の出力を補助スプロケットに伝達する一方向力伝達部材を備えたことを特徴とする請求項1に記載の補助動力装置付き車輌。

【請求項3】

人力駆動力をドライブスプロケットに伝達する一方向力伝達部材を備えたことを特徴とする請求項1又は2に記載の補助動力装置付き車輌。

【請求項4】

減速機構が歯車であることを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の補助動力装置付き車輌。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の補助動力装置付き車輌は、人力駆動力を検出する磁歪式センサと、走行を行うための車輌走行部と、前記人力駆動力をこの車輌走行部に伝達するドライブスプロケットと、補助動力を出力する補助動力装置と、この補助動力装置の出力を減速する減速機構と、検出した前記人力駆動力の値に基いて前記補助動力装置の制御を行う制御部と、前記補助動力を前記車輌走行部に伝達する補助スプロケットと、この補助スプロケットと前記ドライブスプロケットとそれ各自立に係合しそれらの駆動力を前記車輌走行部に伝達するチェーンと、前記磁歪式センサと前記補助動力装置とをそれぞれ覆う非磁性体材料からなるケーシングとを備え、前記補助動力を前記車輌走行部に伝達する機構内では、減速もしくは等速で伝達している。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

別の観点による発明の補助動力装置付き車輌は、減速機構の出力を補助スプロケットに伝達する一方向力伝達部材を備えている。

別の観点による発明の補助動力装置付き車輌は、人力駆動力をドライブスプロケットに伝達する一方向力伝達部材を備えている。